

## 志賀原子力発電所1号機 非常用ディーゼル発電設備クランク軸の対策工事完了について

平成11年7月22日  
北陸電力株式会社

当社志賀原子力発電所1号機（沸騰水型、定格出力54万キロワット）は、平成11年4月29日から実施中の第5回定期検査において、6月14日に非常用ディーゼル発電設備B号機のクランク軸にひびが認められましたが、7月2日に原因と対策をとりまとめ、その後、対策工事を進めてまいりました。

下記のとおり対策工事が全て完了いたしましたのでお知らせいたします。

- 1．ひびがあった非常用ディーゼル発電設備B号機のクランク軸については、表面の非金属介在物の調査を行い、健全性を確認した新品と交換しました。
- 2．その他の非常用ディーゼル発電設備2台（A系、高圧炉心スプレイ系）のクランク軸については、浸透探傷試験により健全性を確認しました。  
（以上7月16日までに公表済み）
- 3．全ての非常用ディーゼル発電設備について、昨日（7月21日）、国による検査が実施され、機能・性能を確認しました。

なお、日本原子力発電（株）敦賀発電所2号機の配管漏えいについては、当発電所では当該設備はないが、念のため類似の原子炉冷却材浄化系再生熱交換器の配管を目視点検し、異常の無いことを確認いたしました。

以 上